

板野中学校 同和教育だより

マイスカイ 第4号

マイ・スカイ

2001年5月28日(毎月第2・第4火曜日きまぐれ)発行

\(^_^\)/

発行者

編集・文責
鰐吉成正士

にんげん

みと

ひょうそしょう

げんこくしきょうそ

キム

さいほん

みと

「人間として認められた」ハシモト病院 原告勝訴!! 金さん、あめでとう!!!

先週マイスカイを出したすぐ後の23日、タイトルの件について、国が裁判の結果を認め、控訴しないという速報が国内を駆け巡りました。それを私が知ったのは、学習会場にいるとき、友人から送ってきたメールからでした。本当にうれしかったです。涙が出るくらい。

実は3年前、板野中学校では、全国に15ヶ所あるハンセン病療養所の一つの岡山県愛生園から、金さんという方に全校生徒にお話に来てもらったことがあります。私自身、ハンセン病について詳しく調べだしたのは、それくらいからでした。(ちょうどその頃上映された「もののけ姫」にも出ていました)その後家族三人でお邪魔しました)その後家族三人でお邪魔したこともありました。子どもをすごく可愛がってくれ、みんなが抱っこしてくれたのを、今でもよく覚えています。しかし、その時に聞いたハンセン病患者に対する差別のひどさは、我が耳を疑うようなものでした。

金さんは、「日本における三大差別は『ハンセン病に対する差別』『在日韓国・朝鮮人に対する差別』そして『部落差別』だ」と言っていました。しかし、今回の国の判断で、その一つが解決のスタートラインに立ったように思えます。

NHKでは、右のように30・31日に特集番組を放送するようです。2~4ページには、新聞各社の記事を載せました。

NHKが「ハンセン病特集」
30・31日

NHKが「ハンセン病特集」
30・31日

日本的にハンセン病患者の外来治療が進む中、なぜ日本だけが隔離政策

隔離政策の実態検証



「ETV2001 ハンセン病患者はなぜ隔離されたのか」の一場面。ある療養所の図書館にあった資料

第一夜は「隔離政策はこうして続けられた」。制定当時、すでに特効薬が見つかり、一部の厚生省(当時)官僚が政策の

のやみに光を当てる「ETV2001 ハンセン病患者はなぜ隔離されたのか」が、三十日からNHK教育で放送される。

二夜連続。二夜連続で、患者の隔離を強制した「らい予防法」(一九六〇年廃止)は、今月十一日の判決で「違憲」と判断され、二年半に及ぶ裁判の過程で、これまで知られていなかつた物証

ハンセン病訴訟熊本地裁判で、患者の隔離を強制した「らい予防法」(一九六〇年廃止)は、今月十一日の判決で「違憲」と判断され、二年半に及ぶ裁判の過程で、これまで知られていなかつた物証

ハンセン病訴訟熊本地裁判で、患者の隔離を強制した「らい予防法」(一九六〇年廃止)は、今月十一日の判決で「違憲」と判断され、二年半に及ぶ裁判の過程で、これまで知られていなかつた物証

ハンセン病訴訟熊本地裁判で、患者の隔離を強制した「らい予防法」(一九六〇年廃止)は、今月十一日の判決で「違憲」と判断され、二年半に及ぶ裁判の過程で、これまで知られていなかつた物証

ハンセン病訴訟熊本地裁判で、患者の隔離を強制した「らい予防法」(一九六〇年廃止)は、今月十一日の判決で「違憲」と判断され、二年半に及ぶ裁判の過程で、これまで知られていなかつた物証

この機会にぜひ見てみてください。

中学校では、ハンセン病を扱った映画「砂の器」を、コンピューター室で28日午後2時半頃から記念上映する予定です。関心のある人は、是非集まってください！！

今回の出来事で私が感じたこと「人の血の通ったこんな国なら誇れるなあ…オレも頑張ってみるかあ～！」

「やっとむくわれた」



国連控訴院の知らせが届き、喜ぶハンセン病訴訟原告の藤田志郎さん（右）

（左）5月23日、熊本県志免町の菊池忠楨園

ハンセン病訴訟 国控訴せず

二十九人が入所。熊本地裁の判決後、青森松樹園。テレジー流れ。松樹園の原告申し出の日まで。高崎友義さん（左）と坂井山本隆久（同園監査会）。山本は八十人近く、増えて百人以上。副食費（八十人）は徳島府の控訴針を反発した。北出は、吉澤を汚染されたためだ。午後六時半送り。声は少し強めで、「共に喜んで」と辰巳さん。JR政策が間違えた。午後六時半送り。「日本政府のハッキリとした医療政策を解説される所を待つ。」

新しく手帳交換して

来られる所へ向う。不審所の不安所解説。満州へ、豈しも。吉澤は、原入所者を取り除いた。

喜び爆発 拍手と歓声

原告ら「靈前に報告したい」

（前編）

「控訴しないことを決めた」。ハンセン病訴訟で国が全面敗訴した熊本地裁判決をめぐり、小泉純一郎首相が「二回出した資本は大方の想定を外すものだった」、「国が亡くなった人に早く報告したい」。徳島県関係者の多くが嘆いた。松樹園は、「國連控訴院の審議所で裁判を纏めさせられる入所者たち。頭を紅潮させ、全国解決を図る」と言い切る首相。金額約四千四百人に上る元患者の早期救済に向けて、固く閉ざされた戸が大きく開かれた。

三月四日付で、最高裁判決が下され、裁判所は了承。三月五日、日本政府は「

「万歳」抱き合う

元患者らの思い国動かす

「やつ一度、母に会えさが」。あつけじられたら、『お母さん、どう』

る弁護団や報道陣の推進呼び声。断然切られた電話が一方の端に出た。肉親のききこいわられない羨慕の闇。ハニセン部長が政府へ、国に賠償命令の熊本地裁判決の元原告の思いが国を動かした。

（控訴庭のドロップ。）「万歳」。あいかわらずが泣く。午後二時半、小泉純一郎相と面談の報告書を開いていた東京霞ヶ浦蓮池温泉の井上会館

議論室へ、支障者が慌てて飛び込んできた。「まことに住む藤田三郎さん」

（右）東日本新幹線沿線で群馬県

（左）西野出身の大田良さん、西野の入る会議室は、「お前も出てきたのですね」と喜んでいた。西野の姓名ではない。自分は「くわい」と、親類の姓を改めて西野姓に改めた。私が育てたおじいさんとおじいさんとおじいさんとおじいさんとおじいさん

（右）「お前も出てきたのですね」と喜んでいた。西野の姓名ではない。自分は「くわい」と、親類の姓を改めた。私が育てたおじいさんとおじいさんとおじいさんとおじいさんとおじいさん

（左）西野の姓名ではない。自分は「くわい」と、親類の姓を改めた。私が育てたおじいさんとおじいさんとおじいさんとおじいさんとおじいさん

大塚シロアリ

（前編）

（西野の姓名ではない。自分は「くわい」と、親類の姓を改めた。私が育てたおじいさんとおじいさんとおじいさんとおじいさんとおじいさん

（前編）

